



アシュラ

製作：リーター・ラヴィル、マハールク・ジョーキー／監督：ラール・ラヴィル／音楽：アーナンド＝ミ lind
マドゥリー・ディークシット／シャー・ルク・カーン／提供：D.V.D. Ltd.／協力：EDEN／配給：アルバトロス・フィルム





**女・神・発・狂。インド各地で上映禁止！
失神者続出!! 暴動寸前!!!
これが噂の《超激辛マサラ・ムービー》!!**

光りあるところに陰がある。明るく楽しいだけがインド映画ではない。さあ、驚くがいい。震えるがいい。叫ぶがいい。これぞインド映画が持つ本物の底力。遂にその全貌が明らかになるインド映画禁断の暗黒面、呪われた封印を解かれた伝説の《超激辛マサラ・ムービー》が、いよいよ日本上陸!! 非道の限りを尽くす悪質なストーカーの恐怖と戦慄! リンチとレイプがまかり通るボンベイ女刑務所の悪夢と凄惨! そして、映画史上最も過激で壮絶な復讐の地獄絵図! すべての映画の常識を遙かに超えた驚愕の展開と強烈な描写の連続で叩きつける空前のショックとバイオレンス! その想像を絶するインパクトが世界中にセンセーションを巻き起こした衝撃の問題作がコレだ!!
かつて妻であり、母であり、女であった美しき野獣。すべての愛するものを無残にも奪われ、いわれなき暴力と陵辱の嵐に蹂躞された彼女が今、復讐の女神となり、悪質な鬼畜どもに徹底的なリベンジを開始する! 激烈な憤怒の炎が、沸き上がる悲しみのマグマが、彼女をアシュラに変えた!!

**2000年、女はもう我慢しない。
映画史上最強の“女のリベンジ・ムービー”登場!
妻として、母として、女として…、
彼女たちの命をかけた復讐がはじまる。**

出演は、ヒロインのシヴァーニー役で、その美貌と踊りのうまさ、そして確かな演技力で圧倒的な人気を誇るヒンディー映画界に君臨する女王マドゥリー・ディークシットが日本初登場。また彼女を執拗に悩ますサイコ・ストーカーを怪演するのは、『ラジュー出世する』『DDLJラヴゲット大作戦』の人気ナンバーワン・スター、シャー・ルク・カーン。ヒンディー映画界を代表する2大スターが繰り広げる怒涛のデスマッチは、インド映画のみならず世界の映画史に残る名場面といえる。監督は数々の異色作、話題作を贈りだしてきたインド映画界屈指のヒット・メイカー、ラーフル・ラウィル。

[スタッフ] 製作:リーター・ラウィル、マハールク・ジョーキー/監督:ラーフル・ラウィル
音楽:アーナンド=ミリンド
[出演] マドゥリー・ディークシット/シャー・ルク・カーン
1993年度作品/インド映画/ヒンディー語/カラー/シネマスコープ/2時間50分/
提供:D.V.D.Ltd./協力:EDEN/配給:アルバトロス・フィルム ★

凄い映画だ!
超大作である。
陽気でダイナミックな歌とダンスに魅せられつつ、深いテーマが、根の様に体に打ち込まれる。
そして何といっても、ヒロインが最高に美しい。
彼女のような高深で、戦う女を主人公にするインド映画の凄さ、人間の尊厳を堂々と唱え、そして、男と女の不幸な時代の問題提起をきちんとしている。
映画に登場する男達。例えば、女を食い物にする、グータラな暴力亭主。女も男も権力も、すべてがお金で思いのままに出来ると思っている男。星を取ってくれとねだるドラ息子。手に入れられないものを破壊しようとする、ストーカー男。女を辱めることで、自分の優位な存在を確認し、女を支配したと思いが、実は弱い能なし男。私達の囲りにも、似たような者がいっぱいいるとは思えないが、男ばかりではない。
女の哀しさを知るが故に、男の権力のおごばれにあずかろうと、男に阿(おも)ね、同じ女性を虐待する愚かて、かわいそうな女。

女性の多くは、女の耐える運命は神の定め、宿命であり、また耐えてこそ一人前の女性と、自らを納得させてきた。
しかしシヴァーニーは、正義の戦いを理不尽なすべてに対して開始した。
彼女は悟る。
涙は女を弱くする。虐げられる原因は、我慢するから。女が我慢する力は大地の如く強いが、一度怒りが燃えると、何もかも焼き尽す。そして、世の中の女は皆、誰かの母や姉妹だけだ。「復讐の女神」もいると。
すべてを失った彼女は、自分の命をかけて復讐するしか道がなかったのだ。実際、真に弱者には、合法的な反撃の手段などない。ただ、手も足も出せず、声すら上げられずに死んでいくだけではないか。

私達アジアの女性は、精一杯自分の人生を生きようとすると、必ず何かの障害にぶつかる。それは男社会が今まで作り上げたあるべき女性像だったり、悲しいかな、女同志の足の引っ張り合いだったり。法律さえ、今だに女性の味方には成り得てない。女性は、今日まで負け続けてきたのである。
ヒロインの涙は、これまでの歴史の中で、数知れない女達の流した涙そのものだ。そして、憎悪もまた同じように女達の、何百年たっても解消されなかった想いのなだ。しかし、ただ泣いているだけでは、これからも永遠に負け続けなければならない。正義の為に戦いを始めた彼女は、実に美しかった。女が宿命に立ち向うとき、本当に美しくなるのだから。彼女の美しさは、私達に勇気と勝利の確信を与えてくれる。この映画が2000年に上映されることに意義を秘かに感じている。
21世紀に向けて、これまでの男と女の断絶や無理解をなくし、真の意味での対等な関係を作り上げる幕開けの年にしたいものだ。

沢田亜矢子(女優)

ANJAAM
アシュラ

東京国際ファンタスティック映画祭'99正式出品作品
95年「FILMFARE」誌最優秀悪役賞受賞(シャー・ルク・カーン)

7/29(土)~衝撃の夏休みロードショー!

8/12(土)より公開!

神戸・京都は
9月以降公開!

扇町ミュージアムスクエア
06 (6381) 0088
ホワイテ島の広場M-10右上がる東へ5分 www.oms.gr.jp

国名小劇
06 (5213) 9229
日本橋1丁目交差点北東角・北陸銀行東隣にはんいちビルB1F

天六ホクテンザ2
06 (6351) 2833
地下鉄・阪急・天神橋6丁目下車6番出口北へすぐ

神戸アートビレッジセンター
神戸高速・新開地8番出口南へ3分 078-512-5500
京都みなみ会館
九条大宮・近鉄東寺駅西へ150m 075-661-3993

◆特別鑑賞券¥1,400(当日:一般¥1,700の処) *共通券ではありませんので、ご覧になる劇場の鑑賞券をお求め下さい。